



授賞式の報道
十一月五日

より一池日王玉六時半に開催された。池袋バーケットホールにて、ご来賓列席の上、行われました。初めて実行委員長増田和也が就任した。広春先生のご挨拶があり、次に審査委員長沈強先生が作品を講評され、続いて賞状授与となりました。馬騒芸術大賞は、第5回馬騒芸術大賞（10名）は広春先生より一人一人に授与されました。また準大賞（10名）は代表高寺慶一様、優秀賞は代表春山たけ子様、佳作賞は瀬田千代子様が沈強先生より授与されました。受賞の喜びを馬騒芸術大賞受賞の藤間美千子様が代表して述べられました。最後に馬騒先生の挨拶で締めくられました。

沈強先生の「挨拶」

伝わってきます。

今回の大賞展の最大の特徴は前回と違い全員の出品の中には20名が個展形式で展示されました。これは、他の展覧会にも曾つてない試みで、会員の能力を發揮できるよい機会になったと思います。会員達は、伝統を継承しながら用筆、用墨を研究応用し、表現能力を最大に発揮しています。また写意性と抒情性を強調して、他の側面からも制作の考え方や画面の構成、用墨、技法などレベルが高い様です。しかし、私は気になる箇所が少々ありました。細かい事ですが作品の完成の最後の環として画賛、落款印等の質のことで。文字、落款印等の優劣は、絵の質に影響を及ぼすので細心の注意が必要であると思います。

皆様は、今後益々努力され下さい。

「書画同源」の理論を大切にすることで、澤山良い作品を創作して下さい。

馬驍芸術大賞受賞者 喜びの声

藤間美千子（埼玉）

私が絵を習い始めてから十三年間、両先生から多くの指導を頂きました。それは水墨画に関する歴史知識・技法などを教わるものがあります。又創作に迷った時も馬驍先生から、他の先生は泣いて言われない大きなアドバイスを頂き、それは私の宝になつておきます。今回大賞を頂き、私の今までの活動に花が咲いたようで、とても嬉しく思います馬驍先生、王萩地先生に深く感謝し御礼申し上げます。



二〇〇四年十二月吉日

を持ち活き活きとしていまし
た。

この度、第5回馬鹿芸術大賞展で数多く素直で個性豊かな作品に出会ったと同時に会員の皆様と和気藹々のご交流ができたことを大変嬉しく思います。今日の水墨画は様々な描き方が作り出され、ますます多様になって行きますが、伝統の源は変わりません。

今回の公開制作で増永広春先生の見事な「走墨」書を拝見しました上、私ども「大作写意」と言う書き方を披露させていたしましたので、先生が多喜びに亘り是を昌言して「書画同源」といふうだ

今回の馬騒芸術大賞展で、最も印象深かったことは、それぞれの制作作者の個性が表れていたことです。制作者は少なくとも十年以上の歴史があることから、一画継続は力なりを強く印象づけられました。常に先生は芸術の事を説いていらっしゃいます。基本の大切さを教育の現場で繰り返しご指導くださっています。それを身につけるには、時間が必要とします。ましてや自分のイメージを形にするには年月が掛ることは想像できます。壁にぶつかった時に、木を繰り返し続けることで先生の正しい教えが少しづつ理解でき、創作意欲が増し、やがてその人なりのテーマやモチーフが創作の過程で個性として表れてくるのかもしれないと思いました。そういう意味で、今回の馬騒芸術大賞展は私に新鮮な刺激をあたえてくれました。

目標を持つて挑戦したい
山森久美子（神奈川県立山の手高等学校）

今年の展覧会は作者のいが伝つて来る見応えのあるものばかりでした。展のコーナーではそれだけ個性が発揮されていて、活動するばかりです。その辺に日頃の先生のご指導はういうものだったのかと、改めて気付いた次第です。大きな先生の熱意に応えらるる作者の皆さんに感心しました。それ以来その魅力に親しみ、敬意を覚え、いつまでもこの残るすばらしい展覧へました。同じ先生のご指導を受けながら私は癒されれるか、「好きだから」とどまります。僅かでも自らの能性に挑戦して目標をせたく存じます。



A black and white photograph capturing a group of approximately ten people in a gallery or exhibition space. They are positioned in front of several framed artworks, which are displayed on tall, thin easels. The individuals are dressed in a variety of styles, including dresses, blouses, and trousers. Some are standing close together, while others are slightly apart, all seemingly focused on the art pieces. The background shows more of the gallery space, with additional easels and artworks visible.

描く人や観る人の心にも徐々に
来の水墨画に対するイメージ
が一新されたような気がしち
ます。常日頃先生の言われる時
代感覚と発想の視点の大切さ
は、実演された増永広春先生の
・斎夢草先生の息をのむ一瞬
日々の筆使いに内容の深さと
真剣勝負の水墨画の醍醐味を
実感させていただきました。
絵を描くことによつて教わ
られる自然の造形の美しさに
感動する心を忘れず、一步一歩
歩好きな道を極めたいと思いま
す。

水墨画のイメージが一新